

# 資料 1

## 学校教育課

### ■教育施策に係る意見交換について

事業名	スクールソーシャルワーカー(SSW)配置事業について
予算要求内容	H29年度予算要求額 スクールソーシャルワーカー新規2名 賃金 3,858千円 社会保険料等 684千円 計 4,542千円
具体的説明	<p>1 SSWとは 社会福祉の専門的な知識、技術を活用し、問題を抱えた児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、児童生徒の悩みや抱えている問題の解決に向けて支援する専門家のこと。</p> <p>2 SSWの必要性 白山市でも、不登校児童生徒が年々増加し、また、一部の児童生徒の家庭環境は、親の離婚、DV、ひとり親、失業、経済的困窮などが絡み合い、複雑化、深刻化している。学校が家庭に介入することは難しく、それができるSSWを市で配置することを、学校は強く求めている。</p> <p>3 SSWの服務 ①問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ ②関係機関とのネットワークの構築、連携・調整 ③学校内におけるチーム体制の構築、支援 ④保護者、教職員等に対する支援・相談・情報提供 ⑤教職員等への研修活動</p> <p>4 SSWの配置計画 ・教育センターに2名配置（小学校担当・中学校担当） ・市内の小中学校を巡回訪問する形態を原則とする。</p> <p>5 その他 ・白山市第2次総合計画の重点項目に位置付けている。 ・H28年度当初予算要求を行ったが、ゼロ査定された経緯がある。</p>

## 資料 2

### 学校教育課

#### ○教育施策に係る意見交換について

事業名	小学校外国語指導助手（ALT）配置事業
予算要求内容	<p>1 現状</p> <ul style="list-style-type: none"><li>平成32年度からの次期指導要領の改訂に伴う、小学校第5、6学年での年間70時間の教科型授業、第3、4学年での年間35時間の活動型授業（現在小学校5、6学年で行われている外国語活動に相当するもの）について、平成30年度から先行実施が全国で始まる予定。</li></ul> <p>2 本市の取組</p> <ul style="list-style-type: none"><li>国の定めた平成30年度の先行実施に先駆けて、平成29年度から本市で、<u>ALTを小学校に増員配置</u>し、英語に親しむ時間を増やしたい。</li></ul>
具体的説明	<p>3 配置計画</p> <ul style="list-style-type: none"><li>平成29年度、ALTを2名新たに小学校へ配置し、市内全小学校第3、4学年の全83学級で年間10時間程度の授業を新規実施。</li></ul> <p>※年間10時間程度の授業時数については、総合的な学習の時間の一部を割り当てたり、その他の時間を利用したりするなど、各小学校の実情に応じて教育課程を編成する。</p>